

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	スーパー（企画担当）	・ 昨年は、総額表示対応、競合店の出店など商品単価の下落が著しく営業面で厳しい状況が続いたが、今は単価の落ち込みも底を迎え、客数も回復基調にあることから、やや良くなる。
		スーパー（経営者）	・ 競合店との競争はますます厳しいものになるが、今後既存店のリニューアル等の計画もあり、現状よりはやや良くなる。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・ 寒さが厳しかったものの、数字的には回復感を感じさせる売上の増加がみられる。
	変わらない	コンビニ（エリア担当）	・ 観光客次第であるが、悪影響を及ぼす要因が無ければ、雇用・購買も安定し、売上も昨年と同様に推移する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 愛知万博の開催により、これから半年は宿泊客数の減少が予想される。県内需要の回復もみられずここ3か月は横ばい状況が続くとみられる。
		観光名所（職員）	・ 3月に開催される愛知万博が、沖縄への観光入域客にどのように影響するか判断が難しい。
		住宅販売会社（従業員）	・ この1年の、受注の苦戦、減少そして建築資材、鋼材の値上がりによる収益の低下傾向はここしばらく続く。
	やや悪くなる	家電量販店（従業員）	・ 買物の内容から、非常にシビアな印象を受ける。今後もこのような動きは続きそうで、家計（収入）に余裕の無い感じが見受けられる。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・ 客が新規開店の安売りイベントに流れるので、既存店の企画の対応に追われている。 ・ 携帯サイトの利用やインターネット上の動画の広告など、宣伝費の負担が増えている。
ゴルフ場（経営者）		・ ゴルフプレーヤーの数自体が減少しているため、今後は低単価による集客でも難しい現状である。内部的な対応を考えて集客を上げる方向にもっていく。	
悪くなる	住宅販売会社（経営者）	・ 受注量が減り、発注単価も厳しくなっている。資金の回転も悪くなり、景気は悪くなる。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	輸送業（営業担当）	・ 荷動きに停滞感があるので、悪くはなる可能性はあるが、良くはならない。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	通信業（従業員）	・ 米軍の再編は当面継続する動きであり、これが落ち着かないとビジネスフェーズへの移行は困難である。別の事業へシフトするための準備期間も含めると、当座の景気回復は望めない。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・ 新規求人企業数が増え、ゴールデンウィーク前までは全体的に増加傾向が続く。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・ IT系企業を中心にその他業界でも積極的な採用活動が行なわれている事から、好況が予想される。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・ 数か月前の派遣依頼が続いていた時期の活気はあまり無く、求職の声が出ているが、求人・求職のミスマッチがあり、なかなか数字に結びつかない状況がしばらく続く。
職業安定所（職員）		・ 2月の新規求職申込件数及び月間有効求職者数は、前年同月比で新規12.3%、月間有効10.3%と増加、過去14か月間の推移をみると前年を新規、有効求職者とも上回る。また、一旦離職すると再就職が厳しい状況が続いている。特に新規求職者申込件数では、主婦層を中心としたパート求職者、雇用保険受給者及び無業者、在職者、事業主都合離職者等の求職者が増加している。2月の新規求人数は、前年同月比で25.6%増加、過去13か月間の推移をみると増加傾向である。今後も、求職、求人とも増加傾向で推移すると考えられるが、求人・求職間のミスマッチから雇用情勢は依然として厳しい状況が続く。	
やや悪くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・ 大企業の景気回復がまだ波及しておらず、特に地元優良企業からの求人が少ない。	

悪くなる

-

-